

志賀原子力発電所 2号機 高感度オフガスモニタの復旧について

平成21年6月1日
北陸電力株式会社

本日(6月1日)、志賀原子力発電所 2号機の高感度オフガスモニタ¹の復旧作業が終了しましたので、お知らせいたします。

これは、5月22日、高感度オフガスモニタの測定値が表示されない状態になったことを受け、放射性物質を検出する「検出器」など機器の点検、取替、調整等を実施し、正常に動作することを確認したため、本日、復旧作業を終了したものです。

(高感度オフガスモニタの故障については、同日お知らせ済み)

故障から復旧までの間、通常の放射線モニタ²の指示値や気体廃棄物処理系³の排ガスの手分析の結果に変化はなく、外部への放射能の影響はありません。

以上

添付資料 志賀 2号機 系統概略図

1 高感度オフガスモニタ

気体廃棄物処理系の入口側の放射線レベルを監視し、燃料棒からの微小漏えいを早期に発見するために補助装置として自主的に設置した装置。

通常の気体廃棄物処理系の監視は、別に設置された空気抽出器排ガスモニタおよび希ガスホールドアップ塔排ガスモニタで監視している。

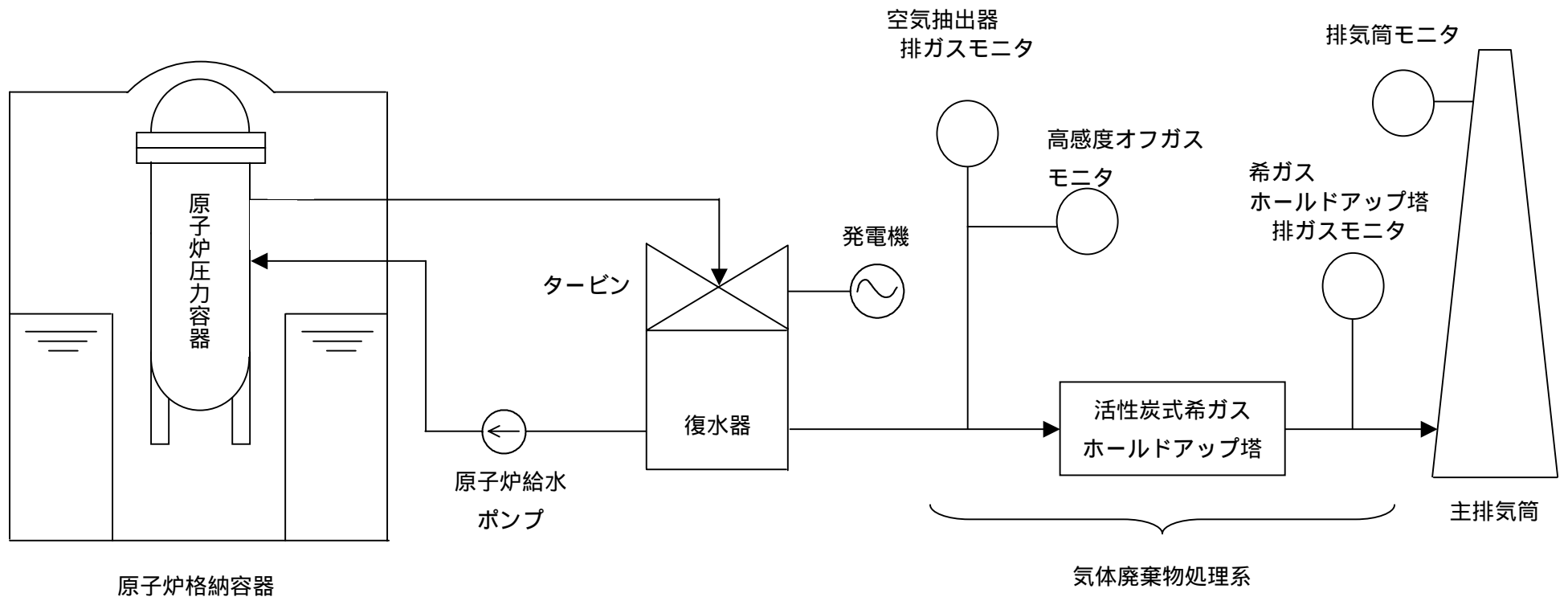
2 通常の放射線モニタ

気体廃棄物処理系内や環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置。

(空気抽出器排ガスモニタ、希ガスホールドアップ塔排ガスモニタおよび排気筒モニタのこと)

3 気体廃棄物処理系

復水器内の真空維持のため、復水器内で凝縮できなかった放射性ガスを抽出して放射能を減衰させた後に、排気筒から放出するための系統。



志賀2号機 系統概略図